

新しい観光振興計画

観光振興を進めるポイント

市は、観光振興を進めるために、
 ①観光で訪れる方の回遊性を高め、
 長い時間滞在していただくこと、
 ②繰り返し訪れていただくこと、
 ③海外からさらにたくさんの方の観光客を迎え市内に宿泊していただくことを目指します。

観光振興の好循環をつくる

観光で訪れた方が、たくさんの方の施設などをまわり、市内に長時間滞在し、宿泊することで、観光にかかわる民間事業者などの収入が増えます。

また、収入が増えることで設備やサービスへの新たな投資を行うことが期待され、雇用の拡大にもつながります。

さらに、千歳の観光の魅力が高

まることで、観光で訪れる方が増え、観光振興がより進むといった、好循環が生まれます。

10年間の観光振興計画

新しい計画は、平成23年度からの10年間を取組期間として、課題や目指すべき方向を、観光事業者などと共有し、観光振興を進めるためにつくったものです。

市民や事業者の声を反映した計画です

実効性の高い計画とするため、計画づくりでは、観光事業者や関係団体、市民などで構成する懇話会を開き、活発な意見交換を行いました。

また、観光の状況を知るため観光客や宿泊事業者へのアンケート調査などを行いました。



懇話会の意見書を市長に渡す会長の内田純一氏

計画の基本理念

北海道の空の玄関である新千歳空港は、千歳と世界各地を空路で結んでいます。手つかずの自然が残されている支笏湖の澄んだ空気が農村地区の青い空。無限の広がりをもつ千歳の可能性を表しています。

空が結ぶまち千歳

水が繋ぐまち千歳

豊富な自然（水・緑・温泉）と

交通アクセスを生かした観光地づくり

支笏湖から市街地の中心部を流れ、農村地区の一部を潤している清流千歳川は、支笏湖・市街地・農村の3つの観光地区をつなぐ象徴的な存在です。この清らかな流れとともに千歳の観光を発展させようという思いを表しています。



基本目標

回遊性の向上と滞在時間の延長

計画の体系（基本目標と4本の柱）

計画の基本理念は、千歳の観光の将来性や方向性を示すほか、観光の印象を訪れる方や旅行会社などに伝えるメッセージとなるものです。

豊かな自然と充実した交通網を生かした観光地づくりを進めることにより、空路で結ばれる国内や海外の各地から、たくさんの方が